

「役立つ医療の活用術」

医療現場のホンネ～ソーシャルワーカーの伝えたいこと～

ソーシャルワーカーとして東京医科大学病院 品田雄市氏が登壇。医療福祉の現場での問題点、医療や介護の諸問題、医療者と患者との関係について話が始まった。患者と医療者との情報の格差は必ずあるため、情報のリテラシーを見極め、感じたことやわからないことは声を上げることが重要であると述べられた。「普段考えていなかった視点が開けてよかった」「病気になったとしても自分がどの病院に行きたいかを明確に持つことが必要」「家族にも自分の生き方を伝えておきたい」など、参加者から意見が聞かれた。



東京医科大学病院 MSW
品田雄市氏

